

長崎県議会議員 深堀ひろしだより

第52号

令和6年 11月発行
発行責任者／深堀ひろし

背景：仁田峠の紅葉

平元気なよかけん よかけん 街創る



浦上天主堂前街頭演説にて

— 2 あ・こ —
言ひ承りたは猛暑ヒヨク、夏が終わり、
短い秋といひります。

この間、度重なる台風の襲来や豪雨
災害により、全国各地で被災が発生しました。
また、能登地方では、震災復旧途中
での被災があり、深刻な現象を呈上げます。

これらの災害復旧においては、全国からの支援が必要となります。
私も、長崎から出来る事を着実に実施していく所存です。

さて、県議会では、去る6月議会の一般質問において明記して
いた大石知事の政治資金に関する疑惑について、所管する総務
委員会及び観光生涯建設委員会について集中審査を実施いたします。

私自身は、県議会の本来の役割は言うまでもなく、「安心・安全で
豊かな県民生活を創る」ための施策審査や政策提言を実施して
いくことだと考えますが、知事の政治資金に関する疑惑等については
司法の手に委ねるものだと考えます。

レヤレ、様々なマスコミ報道に伴い多くの県民が疑惑を抱えている
状況、かつ県政にも支障が生じてからかう一刻も早く正常化する
必要があることから、集中審査を実施します。

未だに、疑惑は払拭できない状況にあります。今後、百合委員会の
設置等を見据え、真相解明に向け取り組んで参ります。

深堀 ひろし

令和6年9月長崎県議会定例会レポート

令和6年9月議会は9月9日から10月4日までの26日間開催されるとともに、令和5年度の決算審査も10月11日から24日まで開催されました。

定例議会の主な議案は、国庫補助事業の内示等に伴う事業費の追加や赤潮被害対策、ジェットフォイル更新支援などの総額約25億8,171万円の一般会計補正予算と「長崎県安心こども基金条例の一部改正」などの条例議案及び「権利の放棄」「財産の処分」などの事件議案等を審査し、それぞれ可決しました。

また、所属する観光生活建設委員会では、知事の政治資金に関連して、公共事業における最低制限価格見直しについて、その決定過程における知事の関与を確認するため集中審査を実施しました。

審査では、当時の責任者である前土木部技監を参考人として招致し、見直しに至った経過等を質疑しました。審査において、見直しに至った理由や経過については妥当性が認められるものの、その過程において、知事に対して適時説明を実施していると答弁がありましたが、その際の議事メモ等が存在しないことから、知事の関与が無かったという確証は得られませんでした。

令和6年度9月補正予算の概要

1. 国庫補助事業の内示等に伴う事業費の追加

(単位：千円)

事業名	補正予算	内 容
地域公共交通ネットワーク 再構築等推進事業費 (交通政策課)	20,000	自動運転の社会実装に向けて、実証運行の想定ルートにおけるリスク分析や社会受容性の調査等を実施(想定ルート：長崎空港～新大村駅間)
公 共 事 業 費	1,844,048	都市公園整備事業(都市政策課) ▷ 35,217 道路橋梁事業(道路関係課) ▷ 533,312 港 湾 事 業(港 湾 課) ▷ 1,033,200 空 港 事 業(港 湾 課) ▷ 18,900 治 山 事 業(森林整備課) ▷ 223,419

2. その他緊急を要する経費

(単位：千円)

事業名	補正予算	内 容
(新) シェットフォイル 更新支援事業費 (交通政策課)	98,250	地域住民の安全安心や地域活性化に寄与する離島の海上高速交通の維持・確保のため、老朽化した高速船ジェットフォイルの更新を支援 ・補助対象船舶：ヴィーナス2(博多～壱岐～対馬) ・建造費用に対する負担割合 ：国1/4 県1/8 市1/8 事業者1/2 ※支援に係る債務負担行為 ▷ 884,250(R7～R10)
(新) ツール・ド・九州 開催準備事業費 (スポーツ振興課)	8,817	ツール・ド・九州2025大会開催に向けて、実行委員会の準備・運営及び機運醸成、広報に係る取組を実施 ・機運醸成・広報PR事業等 ▷ 5,817 ・ツール・ド・九州実行委員会負担金 ▷ 3,000
動物殺処分 ゼロプロジェクト費 (生活衛生課)	債務負担	本県が目指す「人と動物が共生できる地域社会」を実現するための拠点として、新たに動物愛護管理センター(仮称)を整備 ・施設整備及び整備後の運営等経費に係る債務負担行為(R7～R24) ▷ 1,665,759
(新) 養殖魚赤潮被害 緊急対策事業費 (水産加工流通課)	411,684	赤潮による大規模な養殖魚被害に対し、養殖産地の早期回復と事業継続を図るために、代替魚の導入や被害軽減対策への支援を実施 ・代替魚の導入支援 ▷ 362,150 対象経費：養殖事業者が代替魚を購入する際の経費等 補 助 率：県1/3 市1/3 ・赤潮被害軽減対策支援 ▷ 49,534 対象経費：足し網等の導入に係る経費 補 助 率：県1/3 市1/3

主な事件議案

第89号議案 財産の処分について(自然環境課)

雲仙ゴルフ場の財産を処分することについて、議会の議決を得ようとするもの

1. 内 容

雲仙ゴルフ場内の建物を、雲仙市及び民間団体に譲与する

(3)数 量：8件 ① うち1件(クラブハウス)

② うち7件(休憩所兼カート待合所
コース管理事務所、キャディハウス等)

2. 処分する財産

(1)所在地：雲仙市小浜町雲仙字池ノ原548番地1
(2)種 目：建物

(4)相 手 方：(3)の① 雲仙市長金澤秀三郎

(3)の② 社会福祉法人コスマス会 理事長 本田利峰

(5)処分方法：譲与

観光生活建設委員会の主な質疑

質問 公共事業の入札結果で、事業者の辞退が散見されるが、その理由は？

回答 「技術者の配置が困難」、「請負業者の確保が困難」、「現場条件が厳しく施工が困難」、「工事内容から利益が見込めない」などがあると推測している。

質問 辞退が散見されるものの入札自体は成立している。しかし、もし全てが辞退すれば不落となる。現在の不調不落の状況は？

回答 令和6年8月末時点で、入札件数329件に対し5件（建物の新築等改修工事2件、照明・電気関係3件）、発生率は1.5%であり、前年度同時期の3.5%と比較すれば少ない状況にある。理由については「技術者の配置が困難」が一番多く、そのほか「下請け業者の確保が困難」、「手持ち工事が多く工期内完成が困難」との回答であった。

質問 不調不落の発生率減少について、発注者側である県はどのような対応を行ってきたのか？

回答 一定時期に工事が集中しないよう施工時期の平準化が重要と考え、債務負担行為の活用や速やかな繰越手続き、契約から工事着手までに最大120日間の余裕期間を設けることなどを取り組んだ。その結果、令和5年度の平準化率（閑散期である4～6月期における公共工事の稼働状況を年度平均と比較した指標）は目標の0.8を達成した。また、現場条件が厳しく施工が困難な場合も適切な工事費の計上が重要なことから、積極的に見積もりを採用するなどの取組みを行った。



質問 バスターミナルを含めた長崎駅前再開発の完成メドは？

回答 駅前バスターミナルを含む共同建替えについては、準備組合が設立され、現在検討されている。再開発の事業期間は、一般的には計画段階から約10年と考えている。

質問 西九州新幹線開業に伴い長崎駅ビル周辺の整備が進むなか、駅前整備の遅れは長崎の都市機能の向上につながっていかない。完成まで10年とかではなく、国や市とも連携し、決まったことを早期に進めてもらいたいが、県の取組み状況は？

回答 駅前の再整備は共同建替えであることから、権利者の意向等に左右されやすく事業期間が読みにくいが、駅側へのデッキ整備を含め早期の事業効果の発現を目指したい。また、バス停車場を集中させることを念頭に、他の交通手段への乗り継ぎを円滑にすることなど、様々な取組むべき項目を整理し、今秋整備方針をまとめたい。その後に、具体的な配置計画を含めた事業計画を短期間でまとめる。



要望 駅前再開発の早期化は長崎のさらなる魅力をアップさせるため、スピード感を持って取組んでもらいたい。

質問 県内の宿泊客数は九州各県と比較しても増加傾向が顕著であるが、人手不足や稼働率の問題等、現状においての懸念事項は？

回答 本年6月に約950の県内宿泊施設へ人手不足に関するアンケートを実施し、約200施設から回答を得た結果、不足していると回答した施設が7割程度あった。稼働率も2割程度落としている状況で、自動チェックイン機やロボット型掃除機の導入など工夫を凝らしているようだが、大きく改善した状況にはない。

質問 離島地域に係る燃油価格の是正を図るべく、県から25円10銭の減免を国に要望していきたいとなっているが、これが叶わなかった際の県独自の施策についての考えは？

回答 撥発油税等の減免の要望を行っている中、現在は離島のガソリン流通コスト対策事業として平均10円程度の支援があり、この支援の継続と充実も要望している。



質問 ガソリン価格の騰落にかかわらず、離島地域のガソリン代は18円ほど高く、この状況は今後も続いている。地方としてこの状況をどうしていくのかという議論を進め、例えば、地方撲滅油税5円20銭を臨時に減額するなど県独自の施策を考えるべきではないか？

回答 今すぐに進めるとまでは言えないが、国への要望と併せ、県として何ができるかの検討はしていきたい。

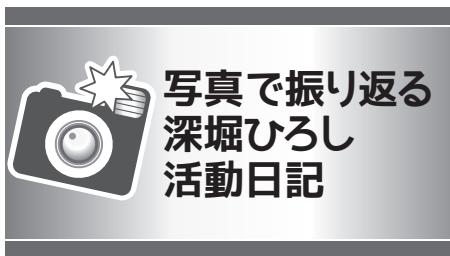
質問 人権尊重の社会づくりの推進の一環として、現在、社会問題化しているカスタマーハラスメント（以下カスハラ）撲滅への啓発活動は行われているのか？

回答 6月にも委員よりカスハラの啓発に関する質問があり、以後、どのような取組ができるかを検討してきた。出前研修や公民館講座などの活用を模索していたところ、県の看護協会よりコンプライアンス研修の申込みがあつたため、カスハラを含むハラスメント対策の研修を10月1日に実施する予定である。また、県発行の「人権かわら版ステンドグラス」という情報誌があり、県庁や市町の窓口等のほか、ホームページにも掲載されている。県民の手には入りやすいため、同誌に掲載することで啓発につなげていきたい。

質問 今年4月に県営バスのダイヤ改正が行われ、最終便の繰上げや長崎バスとの路線のすみ分け（本原、立神、立山、矢の平の4地区）が進んだが、住民からの問合せや要望等の状況は？

回答 ダイヤ改正当初は、乗車できなかったとか、車内が混雑しているといった声があった。県も状況把握のため現場に行き、特定の便に乗車が偏りやすいことを認識したが、次の便以降の空き等があつたため、そのような案内をしつつ住民の声に対応してきた。最近では、乗車できないとの声はさほど来ていないが、道路状況や乗車人員の増加による遅れについての意見はある。





7/27 長崎バス労組中央委員会



8/3 平和キャラバン出発式



8/6 九州電保労政治報告会



8/8 慽靈祭

8/8 平和ナガサキ集会



8/21 九電工労組報告会



インターネットでも深堀ひろしの活動報告をご覧いただけます
<http://www.fukahorihiroshi.net/>
<https://www.facebook.com/hiroshi.fukahori.9>